

09 緑内障についての疑問

風邪薬を飲んでもいいの？

全ての緑内障ではありませんが、緑内障の種類によっては、内服薬や注射薬など他のお薬の使用に注意が必要なものがあります。特に「閉塞隅角」と呼ばれるタイプの緑内障の場合、お薬によって眼圧が急激に上がる危険性があります。安心して治療を続けるためにも、緑内障治療以外の点眼や他の薬剤を使用する際には、医師に相談してください。



次の人は使用前に医師又は薬剤師にご相談ください。
・緑内障の診断を受けた方

点眼を忘れないようにするにはどうしたらいい？

具体的な動作や生活習慣と関連付けて点眼のタイミングを覚えると忘れにくいです。

例えば、新聞を読む前や歯磨きをする前、お風呂に入る前など自分に適した点眼タイミングを見つけると良いでしょう。

複数の点眼薬を時間を空けて点眼しなければならない場合は、食事の前後で点眼すると点眼時間の間隔を確保できることにもつながります。

? 副作用が心配・・・

副作用は全ての人に起きるわけではありませんので、まず大切なことは視野を守るために、毎日点眼を続けることです。しかし、もしも目薬によって異常を感じた場合は自己判断で薬をやめたりせず、必ず医師や薬剤師にご相談ください。お薬をそのまま使ってよいか、中止しなければならないか確認することはもちろん、よりあなたに適した点眼薬を提案できることもあります。また、点眼薬によっては副作用が眼などの部分的なものではなく、全身の症状としてでるものもあります。副作用によっては予防できる方法もありますので、ひとりで悩まずにお話してください。

主な副作用

プロスタグランジン関連薬	まつげが太くなる、充血する、眼のまわりが黒ずむなど
アルファワン α1遮断薬	
ロック ROCK阻害薬	充血するなど
イービーズ 選択的EP2受容体作動薬	
副交感神経刺激薬	暗い感じがする、遠くがぼやけるなど
ベータ β遮断薬 アルファベータ αβ遮断薬	息切れしやすくなる、脈が遅くなるなど
炭酸脱水酵素阻害薬	しみる、かすんで見えるなど
交感神経刺激薬	まぶしくなる、充血する、脈が速くなるなど
アルファワン α2刺激薬	眼が赤くなる、かゆくなる、 まぶたに 腫れがかぶれるなど
配合点眼薬 プロスタグランジン関連薬／β遮断薬 炭酸脱水酵素阻害薬／β遮断薬 α2刺激薬／β遮断薬	各薬剤の項を参照